

RF1 ONE DOWN, TWO TO GO
RF2 BLOOD & GUTS
RF3 BREAD FACTORY #2
RF4 TO THE RESCUE
RF5 THE LAST BID
RF6 TURNED AWAY
RF7 THE RED HOUSE
RF8 FIRE ON THE VOLGA
RF9 GHOSTS IN THE RUBBLE
RF10 THE COMMISSAR'S HOUSE
RF11 OH JOY!
RF12 THE 138 OF THE 138TH
RF13 SANDBANKS OF THE VOLGA
RF14 ANCHORING THE LINE
RO1 BLOOD ON THE TRACKS
RO2 SECOND STEP
RO3 DEFENDERS OF STALINGRAD
RO4 THE MARTINOFEN
RO5 MEN OF STEEL
RO6 THE PLAYING FIELD
RO7 STONE AGE CAVES

RF1 ONE DOWN, TWO TO GO

年月日: 1942年10月17日

場所: THE BARRIKADY

背景: 大規模なDzherhezinskyトラクター工場の鉄道で、ドイツ軍はバリケード工場と赤い十月工場の南方に注意を向けた。10月16日、ドイツ軍の歩兵、戦車、ストゥーカは、第308狙撃兵師団と第84戦車旅団の残兵を突破し、バリケード工場に続く小道を爆破しようとした。よく隠蔽された戦車とカチューシャロケットの一斉射撃は、1ダースの戦車を破壊し、歩兵を地面に這いつくばらせた後、最初の突撃を止めた。10月16~17日の夜、Lyudnikov大佐の第138狙撃兵師団の最後の連隊がヴォルガ川を渡って運ばれ、バリケード工場とその周辺で封鎖拠点を占め、次の命令を受けた。「138師団は42年10月17日4:00から、郊外のDerevinsk、Sculpturnyのラインを占領し、頑強に防御せよ。いかなる状況でも、敵がProspekt Leninaとバリケード工場に近づくことを許すな。」朝、その日の最初の攻撃がソ連軍を襲ったとき、まだ忙しく防御拠点を建設し、武器を照準しようとしていた。

ボード構成: 20以下のヘクスのみがプレイ可能

バランス:

ソ連軍: ソ連軍は工場Fanatic(A10.8)。SSR CG11(O11.4)を参照。

ドイツ軍: 勝利条件で、「 ≥ 20 」を「 ≥ 18 」に変更

勝利条件: ドイツ軍は、ゲーム終了時に、ヘクスA4-DD4の南にある20以上の石造建物/瓦礫を支配すると勝利。

ターンレコードチャート

ソ連軍[227] [ELR3] {SAN5}

ドイツ軍[309] [ELR4] {SAN3}

戦闘序列

ソ連軍:

第344と第650狙撃兵連隊と第84戦車旅団は、4以上の番号のヘクスに配置(SSR3,4,5を参照)

工場民兵部隊は、現在のターン番号以下のdrによる、マップ南端から進入

第138狙撃兵師団予備は、ターン5にM20-O20間から進入

ドイツ軍:

第389歩兵師団は、2以下の番号でヘクス列Tの上/西に配置(SSR6を参照)
第14装甲師団は、現在のターン番号未満のdrでヘクス列Sの北端から進入
第389歩兵師団突撃グループは、第1ターン以降にヘクス列Uの北/西端から進入
その他の増援は、ターン4にヘクス列Uの北/西端から進入。

特別ルール:

1. RFSSRを参照。SSR CG16(O11.4)が有効。
2. セットアップの前に、ドイツ軍プレイヤーは、番号4以下の建物/瓦礫ごとにdrする。最終dr \geq 5で、炎カウ
ターを置く。石造の場合-1drm。
3. 第1ターンのドイツ軍増援配置直後に、番号7以下にある非HIPソ連歩兵ユニットはNMCする。各ユニットは、
敵のLOSに関係なく、NMCによって統制状態が失われた場合にのみ、隠蔽を失う(隠蔽していた場合)。
4. ソ連OBのT-34M41はDug-In(D9.54)であり、瓦礫にいる場合はHIPを使用可能。射撃/TCA変更すると隠蔽
を喪失する(A12.141)。
5. ソ連軍プレイヤーは、10以下の要塞化建物(B23.9)を指定可能。
6. ソ連軍は、80 + mm大隊迫撃砲(C1.22)OBA(HE/煙幕)を1モジュール受領。ドイツ軍は100+ mm OBA(
HE/煙幕)を1モジュール受領。ドイツ軍観測員(C1.2)は、HIP可能。
7. 最初の各5ターン、ドイツ軍プレイヤーはソ連軍RPhの開始時にdrする。dr3以下で、ドイツ軍はすぐに航空支
援(E7; SSR RF9)を受領[EXC:E7.21の1を追加しない]。各ストウーカは、到着したソ連軍プレイヤーター
ンの終了時に自動的に帰還する。

顛末:トラクター工場から南に進出したドイツ軍は新たなソビエト軍と衝突した。ストウーカの攻撃が進撃路を切
り開き、戦場を煙幕と砲弾の真の地獄に変えた。線路に沿って前進するドイツ軍攻撃隊は、なんとかソビエト軍
第138と第308狙撃兵師団の間に穴を開け、バリケード工場の北西の角に侵入した。トラクター工場の戦いは
ほぼ終わったが、赤いバリケード兵器工場と赤い十月工場の長く血なまぐさい戦いは始まったばかりだった。

RF2 BLOOD & GUTS

年月日: 1942年10月22日

場所: THE BARRIKADY

背景: 前日、ドイツ軍は要塞化拠点にいる狂信的なソ連軍守備隊に撃退されたため、バリケード工場と赤い十
月工場に対する新たな全面的な攻撃を行った。少し前進したが、多くの血が流された。10月22日、2つの工場
に対するドイツ軍の圧力が強まり、パウルスは勝利が非常に近いと考え、砲身を深く掘り下げ、比較的新鮮な
第79歩兵師団を投入した。戦車で増強された第305、第389、第79師団の部隊は、両工場にいるソビエト第
138、第308狙撃兵師団の血まみれの残党に凶悪な攻撃を仕掛けた。スターリングラードの西側の丘では、今
シーズン最初の雪が降った。

ボード構成: ヘクス列G-Vで10以上および31以下のクスのみがプレイ可能

バランス:

ソ連軍: SSR CG11(O11.4)が有効

ドイツ軍: SSR2を削除

勝利条件: ソ連軍がプレイヤーターンの終了時に建物Q14および/または建物L17を支配していない場合、ドイ
ツ軍はセットアップ前に密かに記録した以下の2VCのいずれかを実行していれば勝利。

a) ドイツ軍はG20-V20の上/北にあるすべての石造建物/瓦礫を支配していればすぐに勝利。または

b) ドイツ軍は、ソ連軍セットアップエリア内にあるK22建物と他の2つのマルチヘクス建物を支配していれば
ゲーム終了時に勝利。

ターンレコードチャート

ソ連軍[322] [ELR3] {SAN5}

ドイツ軍[418] [ELR4] {SAN4}

戦闘序列

ソ連軍:

第138と第308狙撃兵師団は、V15-O19-O21-G21および/またはO18建物の任意の上/南に配置

第138狙撃兵師団第650狙撃兵連隊は、D31の上/隣接して配置

ドイツ軍:

第389歩兵師団は、H19/L18/Q14(SSR2)建物に配置
第24装甲師団は、ターン1にG16-V10間の北/西端から進入

特別ルール:

1. RF SSRを参照。天気はOvercast(E3.5)、開始時にRain(E3.51)。工場S18、S24、U23、L27は全焼(O5.5)。
2. 非HIPソ連軍ユニット/スタックに隣接する場所ごとに、ドイツ軍MMC、SMC、SWを1つだけ配置可能。
3. 最初にソ連軍に支配されていたすべての工場ヘクス[EXC:内部ヘクス]は要塞化(B23.9)。さらに、両軍は、6以下の他の要塞化建物を指定可能。すべてのドイツ軍要塞化建物は公開(トンネルと交換不可)。
4. シナリオ開始時に、ドイツ軍はソ連軍セットアップエリア外のすべての非地下道を支配。

顛末:瓦礫を乗り越え、ドイツ軍の攻撃は工場要塞の壁を繰り返し攻撃した。シーソーの戦いは、破壊された機械を横切って、または激しい接近戦でボロボロになった工場を通して、双方の断固とした攻撃隊が互いに衝突したため、一日中激烈に展開した。機関銃の射撃と手榴弾の爆発により、石膏と木材のカスケードが破壊された。夕方までに、バリケード工場のソビエト前線が崩壊し、侵略者は瓦礫と残骸を南と西に向かって攻撃した。しかし、頑強なソ連軍の抵抗に対し十分なドイツ軍の予備戦力が不足していたために、大きな突破は阻止された。

RF3 BREAD FACTORY #2

年月日:1942年10月25日

場所;THE BREAD FACTORY

背景:10月24日、第14装甲師団はバリケード工場のすぐ南にある「パン工場#2」を目標にした。翌日、建物に対するドイツ軍の攻撃は続いたが、すぐにソビエト第138狙撃兵師団の激しい防御砲火が確認された。第64 Kradschutzen大隊の残兵であるEsser軍曹は、パン工場の向かいの廃墟に身をかがめていた。通りの向こう側に彼の中隊長が死んで横たわっていた。彼の後ろには動かない体を横たえる小隊長がいた—これも死んでいた。彼の側では、分隊長が頭を弾丸で打ち抜かれてうめき声を上げた。突然、Esserは凶暴になった。彼は立ち上がって「前進！」と叫んだ。そして、致命的な通りを横切って突進し、残りの12名の兵士が彼に続いた。

ボード構成:ヘクス列Rの上/西で番号36以上のヘクスがプレイ可能

バランス:

ソ連軍:ソ連軍プレイヤーは、3つ以下の要塞化建物が使用可能(B23.9)

ドイツ軍:ドイツ軍OBIに1つのMMGを追加

勝利条件:ドイツ軍はゲーム終了時に建物F42とG43を支配すれば勝利

ターンレコードチャート

ソ連軍[0] [ELR3] {SAN5}

ドイツ軍[109] [ELR4] {SAN3}

戦闘序列

ソ連軍:

第768狙撃兵師団は、J40の4ヘクス内に最大1MMC(およびSMC/SW/砲/"?")配置

第62軍の臨時増援は、ターン3に東端から進入

ドイツ軍:

第64 Kradschutzen大隊と第103装甲擲弾兵連隊は以下のように配置

第64クラッシュツツェン大隊は、F45から2ヘクス以内の建物/瓦礫に配置

第103装甲擲弾兵連隊は、ヘクス列Cの西側で番号42以下のヘクスに配置

第14装甲師団は、ターン2にA37とA41の間の西端から進入

特別ルール:

1. RF SSRを参照

2. ソ連軍は、1分隊相当以下(およびSMC/SW)でHIP可能

3. 各ドイツ軍PFPhの開始時にドイツ軍9-1リーダーが(まだ)狂暴化/除去/捕獲されていない場合、ドイツ軍プレイヤーはdrを行う。出目が現在のターン数以下である場合、そのリーダーは狂暴化(A15.4)する。9-1リーダーが最初に狂暴化したら、同じ場所にいる他のすべてのドイツ歩兵も狂暴化する。狂暴化ユニット(

A15.43-431)のLOS内にいる、隠匿/隠蔽ユニットだけで占められていない最も近いソ連占領ヘクスのユニットのみが、自動的に狂暴化突撃の目標になる。

顛末:突撃は50メートル以上の開豁地で行われましたが、驚くべきことに誰も攻撃されなかった。あえぎながら、兵たちは壁に沿って身を潜めた。敵は部屋の向こう側の窓の下にしゃがみ込み、別の方向から攻撃している他のドイツ軍に射撃するつもりだった。ソ連兵は何が彼らを襲ったのか知ることはなかった。そして次の階へ。慎重に、兵は石の階段に忍び寄った。他の兵が近接戦闘をするために部屋に飛び込んだとき、各ドアフレームには一人の兵が隠れていた。一方、装甲擲弾兵を率いるStempel中尉は、鉄道と粉々になった壁の間の工場を襲撃した。クレーターのある地形を横切って建物に到達すると、ドイツ軍は管理ブロックの廃墟を占領した。すぐにソ連軍の後方地域の兵(近くフェリー乗り場からのフェリーを含む)が充満しドイツ軍の前進を止めたが、ドイツ軍がパン工場に対戦車砲、いくつかの機関銃、そして重要な物資を捕獲した後だった。

RF4 TO THE RESCUE

年月日:1942年10月26日

場所:THE BARRIKADYの背後

背景:ソ連軍陣地への飽和砲撃の後、第100猟兵師団の偵察隊はバリケード工場の背後にあるヴォルガ川の西岸に到達することができた。ドイツ軍の分遣隊が通過した後、赤軍の兵士が瓦礫の隠れ家から再び現れたとき、ドイツ軍はすぐに本隊から切り離されたことに気づいた。大河川の高岸に立っていたドイツ軍は、彼らが今や後方にソ連軍がいて連絡線が断ち切られていることに気づいた。暗闇が急速に近づき、猟兵の窮状は重大になった。スターリングラードではソ連軍が夜を支配していた。一方、工場の複合施設では、Wilhelm Kreiser中尉が、立ち往生している仲間に、分遣隊の救助が不可能になる前に突破するよう命令を受けた。

ボード構成:ヘクス列Nの上/東では番号20以下のヘクスのみがプレイ可能

バランス:

ソ連軍:ソ連軍プレイヤーは、SSR 4のdrに現在のターン数をdrmとして追加可能

ドイツ軍:SSR 4で、「FRU」を「FRD」に変更

勝利条件:ドイツ軍は、「取り残された」ユニットの5 VP以上(EVPとして計算)を救出することで即座に勝利。救出と見なすには、「取り残された」ユニットが西端から出るか、ゲーム終了時にヘクス列Sの西側にいる必要がある。

ターンレコードチャート

交互セットアップG→S→G

ソ連軍[105] [ELR3] {SAN4}

ドイツ軍[141] [ELR4] {SAN3}が最初に移動

戦闘序列

ドイツ軍:

取り残された部隊と第100猟兵師団の救援部隊を次のように配置

・取り残されたユニットは、EE9(SSR 2)の2ヘクス以内の3以上の異なるヘクスに最初に配置

・救援部隊は、O8、Q14、S18工場のいずれかに3番目に配置

ソ連軍:

第138狙撃兵師団は次のようにヘクス列Wの上/東に2番目に配置

・最初に塹壕を配置

・残りのすべてのカウンターは、建物/瓦礫/塹壕に配置する。1ヘクスあたり最大1分隊(およびSMC/SW/"?")

かつ1ヘクス列あたり2個以下の非HIP分隊(例:非隠匿ソ連2個分隊は、座標ID文字がZの任意のヘクスに配置)。すべてのカウンターは、すべての「取り残された」ドイツ軍ユニットから3ヘクス以上離れて配置。

北/南端のヘクス列Yの上/東から、dr <現在のターンに進入

特別ルール:

1. RF SSRを参照。工場O8とS18は全焼(O5.5)。6ヘクス以下で+1、6ヘクス以上のすべての範囲で+2の夕暮れ(Dusk)LV障害(E3.1)が有効。
2. 「取り残された」ユニットのドイツ軍8-1リーダーは、負傷(A17)でシナリオを開始。負傷カウンターは、リーダーが公開されるまでマップ外に置いておく。すべての「取り残された」ユニットはFanatic(A10.8)、「取り残された」分隊はセットアップ時に自由に展開可能(A1.31)。

3.ソ連軍は、HIPを1分隊相当以下(およびSMC/SW)に使用可能

4.各味方MPhの開始時に、ソ連軍プレイヤーは1/2dr(FRU)する。このdrは、現在のMPhで移動できるソ連の非狂暴化MMCの最大数[EXC:MPh中、リーダーとスタックして移動するMMCは、この最大数にはカウントしない]。

顛末:取り残された分遣隊の突破の試みはすべて失敗した。夜が明け、ドイツ軍は疲労し弾薬が不足していたが、立ち上がって群がるソ連軍に向かって射撃を続けた。夜明けまでのヴォルガ川岸での恐怖の物語を語るために、何とか戻ることができた生存者はほんのわずかだった。

RF5 THE LAST BID

年月日:1942年11月11日

場所:THE BARRIKADY

背景:2か月以上の間、ドイツ軍は敵から荒廃した都市の支配を奪おうとした。数日間、不気味な小康状態が月面のような戦場に降りてきて、それぞれの側がその傷をなめ、さらに次の攻撃の準備をしていた。ドイツ軍にとっては時間がなくなっていた。ドイツ第6軍の司令官であるパウルスは、都市の南北の側面で敵の活動が増加しているという不吉な報告だけでなく、ソ連の冬季の始まりについても心配していた。これまでのところ、ドイツ軍はソビエト第62軍を、長さわずか10km、深さ1.5kmの川岸の断片に押し込んでいた。最後の大きな一押しが都市のすべての組織化された抵抗を最終的に粉砕するのに十分であるかもしれないことを期待して、ドイツ軍突撃部隊は最後の猛攻撃の準備をした。その間に、12門の150mm砲を誇る実験的突撃砲によって支援された、特別に市街戦の訓練を受けた新たな工兵大隊が空輸された。ドイツ軍最前線の各師団は、自動兵器を大量に積んだ150名の厳選された兵士で構成された突撃中隊を編成した。ソビエト軍は、ドイツ軍の意図を見極め、予想される交戦に対し忙しく準備を行い、彼らがまだ保持していた瓦礫の山と爆破された建物のすべてを手ごわい要塞に変えた。11月11日03:00、夜明け前の早い時間にドイツ軍の一斉砲撃が夜を照らし、都市を占領するための最終入札を開始した。

ボード構成:-

バランス:

ソ連軍:ソ連軍はセットアップ/進入の前に、10MMC以下および2人以下のリーダーのクラス上昇(A15.3)が可能

ドイツ軍:ソ連軍OBAは弾薬不足(C1.211)かつ勝利条件で「 ≥ 12 」を「 ≥ 10 」に変更

勝利条件:ドイツ軍は、ゲーム終了時に建物R29とS34を支配している場合、12以上のマルチヘクス建物を支配(もしくはスタート時から1つも失っていない)ければ勝利

ターンレコードチャート

ソ連軍[723] [ELR3] {SAN5}

ドイツ軍[1012] [ELR4] {SAN4}

戦闘序列

ソ連軍:

第95および第138狙撃兵師団は、包囲円の東に配置(SSR2、6)

ドイツ軍:

Schwerinグループ、第94および第389歩兵師団、および第45および第162工兵大隊は、建物/瓦礫および/または建物/瓦礫に隣接する塹壕(SSR2)の上/西に配置(SSR 6も参照)

増援

ソ連軍:

第300狙撃兵師団、第1053狙撃兵連隊は、SSR3に従い進入

第62軍予備軍は、ターン8以降に東端から進入

第179工兵中隊は、ターン10に東端から進入

ドイツ軍:

第244突撃砲大隊は、ターン1にA44またはK45から進入

第245突撃砲大隊は、ターン6にD0/A22から進入

第50装甲工兵大隊は、ターン10にA22、A37、K45から進入

第36機甲師団は、ターン11に西端から進入

特別ルール:

1. RF SSR [EXC:Wet]を参照。SSR CG9、CG11、CG17(O11.4)が有効。工場L27、O8、S18、S24、S34は全焼(O5.5)。
- 2.包囲円はW1-W5-U6-U25-Q27-Q29-M31-M37-S40-S45
- 3.ターン3以降、第1053狙撃兵連隊が盤外に1ユニット以上残っている場合、ソ連軍プレイヤーは各味方RPhの開始時にDRする。DRが現在のターン数よりも小さい場合、東端ヘクスからこれらのユニット/SWが進入可能。そのターンに進入するユニットとSWの総数は、そのDR以下でなければならず、非Ridersとして進入可能。
- 4.非工場内部ヘクスはすべて要塞化されており(B23.9)、ソ連軍プレイヤーは12以下の追加の要塞化建物を配置可能。
- 5.両軍は、3以下の分隊相当(およびSMC/SW)がHIP可能。
- 6.ソ連軍は、120+mm OBA(HE/煙幕)を1モジュール受領。ドイツ軍は、豊富な弾薬(C1.211)を備えた100+mm OBA(HE/煙幕)を1モジュール受領し、ターン10に80+ mm大隊迫撃砲(C1.22)OBA(HE/煙幕)を1モジュール受領。セットアップの前に、各陣営は開始時モジュールごとに1ヘクスを事前登録(C1.73)。どちらの側も、開始時のOBAに無線または電話のいずれかを自由に選択可能。
- 7.狙撃drが「1」の場合、狙撃兵の所有者は、攻撃や狙撃カウンターのリ配置の代わりに、SANを1増加可能。ただし、この増加では、印刷されたSAN以上に上げられない。

顛末:06:30に、ドイツ軍攻撃部隊は、煙幕が展開された地形を慎重に横切って前進したが、小火器の猛烈な射撃に遭遇した。勇敢なソビエト軍守備隊は、すべての陸側の側面に対し圧迫され、多大な血の代償を課してはいたが、徐々に土地を譲ることを余儀なくされた。正午の少し前に、ドイツ軍歩兵と装甲部隊は、バリケード工場の南正面150メートルのヴォルガ川に到達し、川岸に沿ったLyudnikovの第138狙撃兵師団の放心状態の残党を効果的に隔離した。他の部隊は、ソビエト軍がまだ保有している赤いバリケード工場の残りの部分を襲撃し、工兵はバリケード工場の背後にある小さな要塞化された化学店とコミッサールの家を占領した。戦闘が最終的に相互の疲労で終わるまで、それぞれの軍はほぼ4日間相手を攻撃し続けた。それが終わったとき、ドイツ軍は化学店、コミッサールの家、そしてバリケード工場の残りの部分をなんとか占領した。しかし、スターリングラード戦の基準から見ても、ドイツ軍の損失は莫大だった。それでも、ソビエト軍は持ちこたえた。ドイツ軍の最後の入札は失敗した。

RF6 TURNED AWAY

年月日:1942年11月15日

場所:THE BARRIKADYの南東

背景:その主な目的を達成できなかったにもかかわらず、HUBERTUS作戦では残存ソビエト軍はひどく打撃を受けた。その1つである再編成可能な第138狙撃兵師団は、現在、400メートル×700メートルのヴォルガ川沿いの土地で孤立していることに気づいた。残りの連隊のうち、第650連隊は31人の生存者しかいず、第344連隊は123人しか召集できなかった。毎日、ソ連軍は補給物資や増援を夜間フェリーで送ろうとしたが、それらは凍って危険な流氷により遮断されてしまった。物資を空中投下する試みは大体が失敗し、より多くの小包が敵の手に落ちるか、衝撃で取り返しのつかないほどのダメージを受けた。それでも、ソ連軍は何とか持っているものをしっかりと保持し、多くの危機を乗り越えた。これらの1つは、自動拳銃で武装した約70名のドイツ軍の突撃分遣隊が彼らの細い補給線を攻撃したときに発生した。

ボード構成:番号36以上のヘクスのみがプレイ可能

バランス:

ソ連軍:勝利条件で、「すぐに」を「ゲーム終了時」に変更

ドイツ軍:ゲームの長さを7+1/2ターンに増やす

勝利条件:ドイツ軍は、ソ連軍司令部ビル(SSR4)を支配するとすぐに勝利

ターンレコードチャート

ソ連軍[ELR4] {SAN5}

ドイツ軍[ELR4] {SAN3}

戦闘序列

ソ連軍:

第344と第650狙撃兵連隊、第279独立工兵中隊、および第138師団司令部警備中隊は、下記のように配置(SSR2)

- ・第344と第650狙撃兵連隊は、ヘクスAA45-AA40-II36の上/東に配置
- ・第279独立工兵中隊、および第138師団司令部警備中隊は、SSR 4に従って配置

ドイツ軍:

第79歩兵師団の突撃グループは、ヘクス列Y(SSR2)の西側の峡谷内に配置

特別ルール:

1. RF SSR [EXC:ECはWet]を参照
2. 両陣営は、敵がマップ外に配置しているかのようにすべてのユニットを隠蔽配置(A12.12)。ドイツ軍OBで与えられた「？」は峡谷内に配置可能。
3. ソ連軍プレイヤーは、3以下の要塞化建物(B23.9)を指定可能。ソ連軍は弾薬不足(A19.131)。
4. ソ連の第179独立工兵中隊と第138師団司令部警備中隊は、EE44、DD41、FF37のいずれかの建物にHIP配置。選択した建物はソ連軍司令部の建物と見なし、その中の非ダメージユニットが公開されるまで、それは秘密にされる。他の非ダメージユニット/SWIは司令部ビルに配置不可。

顛末:ドイツ軍はソビエト軍の戦線を突破し、第138狙撃兵師団の後方に侵入した。師団司令部に近づくと、第279独立工兵中隊の12名の生存者は、数人の職員と一緒にいる司令部警備中隊の残りの6名の兵士に遭遇した。ソビエト軍は侵入者と激しい白兵戦を行い、ついにドイツ軍を追い払うことができた。生き残ったドイツ軍は、来たところから瓦礫の中に姿を消した。

RF7 THE RED HOUSE

年月日:1942年12月5日

場所:THE BARRIKADYの背後

背景:ドイツ第6軍は、ほぼ2週間にわたって包囲されていた。それでも、11月中旬以降、Lyudnikov大佐の第138狙撃兵師団は、バリケード工場の背後にあるパイ型の土地に閉じ込められていた。ソビエトの鋼鉄の輪が街を引き締め、ヴォルガ川の不安定な足場から、第138師団の突撃部隊は毎晩、ドイツ軍を占領し続けているKesselの東端に向かって突撃した。繰り返すが、「赤い家」(別名「コミッサールの家」)は苦闘の連続だった。

ボード構成:ヘクス列Wの上/東で番号12以上および23以下のヘクスのみがプレイ可能

バランス:

ドイツ軍:ドイツ軍OBに12個のA-P地雷を追加

ソ連軍:ドイツ軍はLax(A11.18)

勝利条件:ソ連軍は、ゲーム終了時に、ドイツ軍のセットアップエリアにある建物CC19および/または4以上の建物を支配すれば勝利

ターンレコードチャート

ドイツ軍[101] [ELR3] {SAN4}

ソ連[130] [ELR3] {SAN4}

戦闘序列

第305歩兵師団、第476歩兵連隊は、ヘクス列CCの西側に配置

連隊予備は、発射光を配置した後のドイツ軍プレイヤーターンに自動的な移動の自由(E1.21)を使用して西端から進入

ソ連軍:

第768狙撃兵連隊は、ヘクス列FFの上/東に配置

特別ルール:

1. RF SSR [EXC:ECはsnow]を参照
2. 夜間ルール(E1)が有効。基本NVRは2ヘクス。マップ内に配置するが、ソ連軍がシナリオ攻撃側。ドイツ軍はシナリオ防御側。ソ連軍の過半数の分隊は静粛(A11.17)で、ドイツ軍はノーマル。
3. ソ連軍が攻撃を解決すると、すべてのドイツ軍リーダーは自動的に移動の自由(E1.21)を獲得 [EXC:待ち伏せの成功; 恐慌射撃(E1.55)]。

4.ドイツ軍プレイヤーは、4以下の要塞化建物を指定可能(B23.9;トンネルはNA)

5.双方が弾薬不足(A19.131)

顛末:夜の支配者であるステルスしたソビエト軍は、影を通り抜けてドイツ軍の陣地に忍び込んだ。ナイフとス
ペードを武器とした突撃部隊は、疲労したドイツ軍の多くを驚かせた。ソビエト軍は何とかドイツ軍からいくつか
の貴重な建物と領土を奪い取り、それによって自らの貧弱な橋頭堡を拡大した。しかし、「赤い家」は依然として
ドイツ軍の支配下にあり、ソビエトがボロボロになった要塞を奪還しようとする試みを再び起こさせた。大虐殺は
続いた。

RF8 FIRE ON THE VOLGA

年月日:1942年10月27日

場所:THE BARRIKADYの背後

背景:ソビエト軍にとって、廃墟となった都市を守るために重要な日となりつつあった。ドイツ軍第79歩兵師団は、
赤い十月工場(バリケード工場の南約1 km)に向かって前進し、Guryevの第39親衛狙撃兵師団の司令部を攻
撃した。その間、さらに北では、他のドイツ軍の師団の部隊が川に到達するためにパン工場を通して東に向
かって戦っていた。ソビエト軍にとって幸運なことに、第45 Shchors狙撃兵師団のSokolov中佐の新たな2個
大隊は一晚中戦い、バリケード工場と赤い十月工場の間に防御拠点を構築しようとした。新たなドイツ軍の攻
勢が始まったとき、彼らはまだ構築中だった。

ボード構成:ヘクス列Oの上/東の番号23以上のヘクスのみプレイ可能

バランス:

ソ連軍:SSR2で、「 ≤ 2 」を「 ≤ 4 」に変更

ドイツ軍:ドイツ軍OBの7-0 /無線を、ドイツ軍のセットアップ中に密かに記録したヘクス列W上/西の南端ヘクス
のレベル3に配置した盤外砲撃観測員(C1.63)と交換

勝利条件:ドイツ軍は、ゲーム終了時に、レベル2以上にいて、ヘクス列JJの東(マップ外)の理論上のヘクス
(すべてレベル0とみなす)を通常射程およびLOS(煙幕を無視)内に収めている統制状態ドイツ軍MMC[EXC:
スタック超過はNA;A5.1]が印刷されたFPの合計を18以上所持していれば勝利。ターン5以降に東端から退出
した、各統制状態ドイツ軍非dm MGの印刷されたFPは合計にカウント可能。

ターンレコードチャート

ソ連[129] [ELR3] {SAN5}

ドイツ軍[222] [ELR4] {SAN3}

戦闘序列

ソ連軍:

第10狙撃兵連隊は、ドイツ軍セットアップ可能ヘクスから2ヘクス以上離して配置

第45狙撃師団は、ターン4に東端から進入

ドイツ軍:

第79歩兵師団は、R41から4ヘクス以内に配置

特別ルール:

1. RF SSRを参照。工場S34は全焼(O5.5)

2.ソ連軍プレイヤーは、3以下の要塞化建物(B23.9)を指定可能。ソ連軍は、HIPを2以下の分隊相当(および
SMC / SW)に使用可能。

3.ドイツ軍は、豊富な弾薬(C1.211)を備えた80 + mm大隊迫撃砲(C1.22)OBA(HE/煙幕)を1モジュール受
領。

4.プレイ中いつでも、統制状態ドイツ軍ユニットは、現在の位置からヘクス列JJの東の理論上のヘクス(すべて
レベル0)まで、任意の数の「フリー」LOSチェック可能。(注:このシナリオで使用するマップにあるすべての
建物はレベル1であることに注意。)

顛末:再び戦いは基本に戻った。歩兵はスターリングラードの瓦礫と部屋で歩兵と戦った。個々の英雄的行為
は死と同じくらい一般的だった。激しい抵抗にもかかわらず、ドイツ軍はMezenskayaとTuvinskayaの間のフェ
リー発着場に射撃するのに十分な距離まで前進することができた。ソビエト軍は約100メートル後退し、ドイツ軍
はヴォルガ川から360メートル離れていた。第45師団の残りの部隊を渡すフェリー、および他の援軍は、悲惨な

経験をした。この時点で、ドイツ第6軍は荒廃した都市の90%を保持し、残りの10%は事実上ドイツの阻止下にあった。

RF9 GHOSTS IN THE RUBBLE

年月日: 1942年10月31日

場所: THE BARRIKADYの南東

背景: ヴォルガ川を渡る最後のフェリーはドイツ軍の機関銃の射撃を受けており、ソビエト軍は十月革命の記念日が近づいても、赤い十月工場とバリケード工場周辺の瓦礫の中で拠点をほとんど保持していなかった。ソビエト「陸軍軍事評議会」は、受動的な最後の撃を望んでおらず、ドイツ軍が戦力を集める前に、疲れ果てた敵に反撃するよう命じた。ソビエト軍「橋頭堡」を広げる任務は、最近ヴォルガ川を越えて2つの偉大な複合工場施設の間で拠点を設置したVasili Sokolov中佐の第45狙撃師団に与えられた。30分間の弾幕射撃の後、突撃部隊は前進して線路に到達し、敵の拠点と小さなポケットを迂回して、部隊の予備軍を掃討した。第253狙撃兵連隊から抽出された主力部隊は、「大胆かつ迅速に」前進するように求められた。このAll Hallows' Eveで、Sokolovの部下(レンガのほこりが彼らをほとんど幽霊のように見せている)が前方にスクランブルをかけ、川の向こう側の重機関銃の散布射撃の弾幕に近づいた。

ボード構成: ヘクス列Uの上/東の番号38以上のヘクスのみプレイ可能

バランス:

ドイツ軍: ドイツ軍OBに12のA-P地雷を追加

ソ連軍: ゲームの長さを7+1/2ターンに増やす

勝利条件: ソ連軍は、失った(または失わなかった場合は最初から保持)よりも8以上多くの建物/瓦礫/塹壕を支配することにより、ゲーム終了時に勝利

ターンレコードチャート

ドイツ軍[154] [ELR4] {SAN3}

ソ連[134] [ELR4] {SAN3}

戦闘序列

ドイツ軍:

第14装甲師団、第103装甲擲弾兵連隊は、CC38-Y40-Y45の西側に配置

ソ連軍:

第45狙撃兵師団、第253狙撃兵連隊は、EE43の4ヘクス内に配置

特別ルール:

1. RF SSRを参照
2. 各プレイヤーは、5以下の要塞化建物(B23.9)を指定可能。ドイツ軍プレイヤー(のみ)は、指定しない要塞化建物ごとに6つのA-P地雷に置換可能。
3. ソ連軍は、自動的に黒の砲撃権獲得チット(E12.72)を備えた120 + mm移動弾幕(E12.7)を1つ受領。移動弾幕ヘクス群はマップ東端と平行。
4. ドイツ軍セットアップエリア内のみがドイツ軍の支配。他のすべてはソ連の支配。

顛末: Chuikovの見解では、反撃は大成功だった。多大な犠牲者にもかかわらず、いくつかでソビエト軍は百ヤード以上進んだ。減少した第253連隊は、Novoselskayaの左翼を全長にわたって占領し、工業団地の西端に足場を築いた。一方、第39親衛狙撃兵師団の部隊は、南にある赤い十月工場のいくつかの瓦礫を同時に奪還した。しかし、得られた土地よりも重要なのは、ソビエト軍が、自分たちは守るだけでなく、そのような悲惨な状況でさえ、瓦礫の街で首尾よく攻撃できることを示したという事実だった。スターリングラードでの1か月の激しい戦闘の終わりに、最後の打撃はドイツ国防軍ではなく赤軍によってもたらされた。これは、Chuikovがソ連軍の厳しい戦いの間に革命を祝うためにスターリンをもたらした士気上の勝利だった。

RF10 THE COMMISSAR'S HOUSE

年月日: 1942年11月9日

場所: THE BARRIKADYの背後

背景: 廃墟の真っ只中でドイツ第6軍は出血していた。多くの場合、1つの家を奪おうとする全中隊の歩兵戦力

は分隊にすぎなかった。戦線は、通りや街区ではなく、個々の建物の廊下に引かれていた。ドイツ軍は、最後の攻撃のために新しい特殊部隊を投入した。街路戦闘に関して特別に訓練したエリート工兵5個大隊と、ヴォロネジの激しい街路戦闘を経験したベテランが召集され、バリケード砲工場の機械工場とヴォルガ川の間最後の頑固な前哨基地を占領した。しかし、Rettenmaier少佐の工兵たちは、「赤い家」と同等の戦いを見たことがなかった。

ボード構成: 番号23以下のヘクスのみプレイ可能

バランス:

ソ連軍: 建物BB18のソ連軍はFanatic(A10.8)

ドイツ軍: ゲームの長さを9+1/2ターンに増加

勝利条件: ソ連軍は、ゲーム終了時に、建物X9とBB18の1つ以上に、1つ以上の非混乱分隊相当を保持すれば勝利

ターンレコードチャート

ソ連軍[238] [ELR3] {SAN6}

ドイツ軍[326] [ELR4] {SAN3}

戦闘序列

ソ連軍:

第118狙撃兵連隊は、V0-V1-V4-V5-V9-W15-W21-Y21-Y23道路の東に配置

ドイツ軍:

第50装甲工兵大隊と第577歩兵連隊は、V0-V1-V4-V5-V9-W15-W21-Y21-Y23道路の西に配置

特別ルール:

1. RF SSRを参照。建物BB18のすべては要塞化(B23.9)。
2. SSR RF15に加えて、ソ連軍は建物BB18から7ヘクス以内にレベルAのブービートラップ能力を所持
3. ソ連軍は、3以下の分隊相当(およびSMC / SW)でHIP使用可能

顛末: 攻撃が始まる前から18名がブービートラップで殺されたが、拠点の1つである「化学者の店」は簡単に陥落した。しかし、「コミッサールの家」は真に死の罠だった。赤レンガの建造物はすべての開口部に破片が詰められた要塞になっており、ソビエト軍守備隊にはほとんど見えないのぞき穴があり、そこから致命的な精度で射撃された。ドイツ軍が建物に侵入した後でも、ソビエト軍は降伏を拒否し、地下室から抵抗した。梱包爆薬とガソリン缶だけが、コミッサールの家の勇敢な守護者に激しい終焉をもたらした。しかし、勝利はピュロスの勝利だった。岸に到着した突撃工兵の戦力は大きく減少していた。4日以内に、エリート大隊はその戦力の3分の1を失い、残りの部隊は、これからの攻撃のためのより効果的な戦闘グループを形成するために撤退した。

RF11 OH JOY!

年月日: 1942年10月28日

場所: THE BARRIKADYの南東

背景: スターリングラードのソビエト軍は限界まで展開しており、戦力は非常に薄く、戦線に沿ってどこからでも部隊を移動させるとギャップが生じた。夜に第45師団がヴォルガ川を渡河するための時間を稼ぐのに必死になったが、ソビエト軍にはそれ以上の予備がなかった。27日に粉碎された第118狙撃兵連隊は少し運が良かった。驚いたことに、彼らは最前線から3台の戦車を回収し、1台は火炎放射器が機能していた。時間を稼ぐことを切望して、ソビエト軍はこれらの戦車、野戦病院から解放されたばかりの30人の兵士、および第62軍のスタッフ12人のメンバーを一緒に投入し、この急拵えの装甲予備軍を反撃に送った。

ボード構成: ヘクス列Wの上/東の番号38以上のヘクスのみプレイ可能

バランス:

ドイツ軍: SSR4はNA

ソ連軍: 9-1のリーダーを9-2のリーダーと交換

勝利条件: ソ連軍は、ゲーム終了時に、塹壕を1以上支配し、ドイツ軍よりも20VP以上と10CVP以上を蓄積すると勝利。CVPは、通常通り双方が獲得。さらに、ソ連軍は支配する塹壕ごとに3VPを獲得。

ターンレコードチャート
ドイツ軍[ELR3] {SAN3}
ソ連[ELR3] {SAN4}

戦闘序列

ドイツ軍:

第79歩兵師団は、ヘクス列BBの西側に配置

ソ連軍:

第118狙撃兵連隊と司令部および、第62軍スタッフを下記のように配置

・第118狙撃兵連隊は、ヘクス列CCの上/東に配置

・第118狙撃兵連隊司令部と第62軍スタッフは、ヘクス列GGの上/東に配置

特別ルール:

1. RF SSRを参照。SSR CG15(O11.4)が有効。夕暮れ+1 LV妨害(E3.1)が有効。
2. セットアップ後、プレイ開始前に、各ドイツ歩兵ユニットはNMCを実施。OBA に対するTEMは、NMCに負のDRMとして適用。各ユニットは、敵のLOSに関係なく、NMCによって統制状態が失われた場合にのみ、隠蔽を失う(ある場合)。
3. OBのソ連軍5-2-7/4-4-7はWalking Wounded(WW)。WWMMCは3MFであり、理由を問わず(潰走中または狂暴化中でも)[EXC:あらゆる形態の輸送手段で運搬中]、IPCは2に減少し、+1DRMを受ける。それに対するすべてのCC攻撃は-1DRM。2つのWWHS(A1.32)をWW分隊に統合可能。非WWHSとWWHSの場合、分隊はWWとする。
4. A-P地雷をA-T地雷(B28.5)に交換不可

顛末: 砲兵とカチューシャの砲撃に支えられて、ソビエト軍は夜明け前の薄明の中で攻撃を開始した。そのような小さな戦力では遠くまで進むことができなかったが、軽戦車を使って前方の塹壕のドイツ軍を追い越し、火炎放射戦車を使ってドイツ軍の戦車を狩った。この攻撃の影響は、スターリングラードを数ヤード奪還するだけでは無かった。ドイツ軍の無線は予期しないソビエト軍の装甲反撃を伝え、疲れ果てたドイツ軍はこれを停止して再編成する口実として使用した。一時的な反撃は、別の日にスターリングラードにソビエト軍を送り、ヴォルガ川を越えて第45師団を輸送し続けることができた。。

RF12 THE 138 OF THE 138TH

年月日: 1942年11月17日

場所: THE BARRIKADY北東部

背景: ドイツ第6軍は、11月11日にバリケード工場地区で攻撃を開始し、梱包爆薬と火炎放射器で武装した5つの新しい、特別に編成した工兵大隊に支援された2個歩兵師団のを投入した。2つの突撃砲分遣隊も主な攻勢を支援した。この攻勢の矢面に立たされたのは、Ivan Oyich Lyudnikov大佐の第138狙撃兵師団とその1,200名の部隊だった。6日後の17日、Lyudnikovの師団記録は、第138連隊の3個連隊の戦力は、たった138人になっていたと述べた。この数字には指揮所の近くの避難所にいた358名の負傷者を追加できたが、ドイツ軍の射撃がヴォルガ川渡河を妨害したために避難できなかった。

ボード構成: ヘクス列Sの上/東の番号22以下のヘクスのみプレイ可能

バランス:

ソ連軍: ソ連軍OBAに豊富な弾薬を追加(C1.211)

ドイツ軍: ゲームの長さを7+1/2ターンに増加

勝利条件: ドイツ軍は、ゲーム終了時に、次の3つの条件のいずれか以上を達成すれば勝利

・川に隣接するすべてのレベル0ヘクスを支配

・建物CC10とヘクスDD10を支配

・ソ連軍よりもVPが多い。ドイツ軍は、ソ連軍セットアップエリア内の各建物を支配すれば1VPを獲得。ソ連軍は、ドイツ軍セットアップエリアの各建物を支配すれば1 VPを獲得し、CVP(FRD)ごとに1VPを獲得。**【訳注】FRDがよくわからん**

ターンレコードチャート

ソ連軍[170] [ELR2] {SAN5}

ドイツ軍[224] [ELR3] {SAN3}

戦闘序列

ソ連軍:

第138狙撃兵師団を以下のように配置(SSR2,3,5)

・第244連隊は、V13-V10-U10-U8-Y10-Y14-X13-V13の上/内に配置

・第650連隊とZagrad Otryadi NKVD阻止部隊は、
Z14-Z10-BB10-GG13-GG14-HH14-HH17-BB17-BB15-Z14の上/内に配置

・第768連隊は、U7-U6-CC6-FF7-FF9-Z9-U7の上/内に配置

・第138師団司令部は、EE10の2ヘクス内に配置

・師団予備は、ソ連のセットアップエリア内に配置

ドイツ軍:

第305歩兵師団と第389歩兵師団を以下のように配置(SSR2)

・第578歩兵連隊と第50装甲工兵大隊は、S17-Y17-HH21-HH22の上/南に配置

・第577歩兵連隊と第336工兵大隊は、S6-T6-T10-U11-U14-X15-X16-T16-S16の上/西に配置

・第546歩兵連隊、第45工兵大隊、および第24突撃分隊は、S4-EE4の上/北に配置

・第244 Sturmgeschutz Abteilungと師団工兵予備は、dr ≤ 現在のターン番号またはターン4に、V0-Y22の北/西/南端から進入

特別ルール:

- RF SSR [EXC:EC はWet]を参照。積雪(E3.72)が有効[EXC:川は不凍]。SSR CG8(O11.4)は、ソ連軍(のみ)に対して有効。オーバーレイRB1、RB2、RB4、RB6を配置。建物CC10には、+1TEMのレベル2の尖塔(B31.2)がある。石造瓦礫をBB18に、木造瓦礫をBB17に設置。1+5+7トーチカ(CA:CC11 / DD11)と塹壕をDD10に配置。該当する場合、塹壕は崖ヘクスサイドを越えて互いに接続する。トンネルはNA。
- セットアップエリアがヘクス群に沿っている場合、ユニットはそのヘクス群を形成するヘクスと同じ番号のヘクスにセットアップ可能(たとえば、ヘクス群BB17-HH17の場合、ユニットはDD17とFF 17に設置可能だが、CC18は不可)。
- ソ連軍プレイヤーは、7以下の要塞化建物(B23.9)を指定可能。ソ連軍分隊は、セットアップ時に自由に展開可能(A1.31)。ソ連軍は、4以下の分隊相当(およびSMC / SW)にHIP使用可能。ソ連軍は弾薬不足(A19.131)、MOL(A22.6)能力を保持するが、MOLチェックdrはAFVに対してのみ。
- ソ連軍は120+ mm OBAを1モジュール受領(HEのみ)。このモジュールは、セットアップ前に秘密裏に記録した東端ヘクスのレベル1の盤外観測員(C1.63)、またはOBのソ連軍10-2リーダーのいずれかによって指示される。これらのうちの1つだけが、一度に無線連絡/砲兵連絡(つまり、ARからFFE:C)を保持可能。OBの10-2に無線連絡がある場合、指揮官修正をdrmとして任意の精度drに適用可能。余分でない赤チットが引かれるたびに(C1.21)、それを別の赤いチットと一緒にドローパイルに戻す。さらに、複数の赤チットが引かれた場合、砲兵連絡が永久に失われることはない。
- Zagrad Otryadiグループのソ連軍3-2-8はNKVDである。IDを記録しておく。NKVD MMCは、突撃射撃(A7.36)できない二線級(A1.25)ユニットであり、ELRが5で、士気(A19.13)が増加しており、混乱時の士気レベルが1増加する。NKVDMMCは、追加の-1HOB DRMを受け、クラス上昇でFanatic(A10.8)になる。戦場昇進(A18)が発生した場合、NKVDMMCは自動的に9-0コミッサールになる。非隠蔽の統制状態NKVS3-2-8から4ヘクス以内にLOSがあるすべての統制状態ソ連軍MMCはFanaticと見なされる。コミッサールは、1 NKVD3-2-8以上とスタックして配置する。
- ドイツ軍プレイヤーは、3以下の要塞化建物(B23.9)を指定可能。

顛末:ドイツ軍は、ソ連軍第138師団の前線に沿ってほぼ一定の圧力をかけ、側面に回り込み、唯一の有効な補給源である川の土手からソビエト軍の前線をこじ開けようとした。多大な犠牲者にもかかわらず、第138師団は「Lyudnikovの島」と呼ばれる約450メートル×600メートルの馬蹄形のポケットに留まり続けた。ある時点で、Lyudnikovは、Senchkovsky少尉が率いるNKVD部隊の分遣隊で、強く圧迫されている左翼を強化した。攻撃に直面した彼の断固とした戦いは、視界内で戦っている残りの部隊を強化するのに役立った。最後に、11月19日の朝、凍りつく霧のように冷えた空気の中、3,500丁の銃がほぼ一斉に発砲する音が響いた。スターリングラードの北と南で、ソビエトは攻撃を続けていた。母なるロシアの運命は、リュドニコフの島にあった。

RF13 SANDBANKS OF THE VOLGA

年月日:1942年11月11日

場所:BARRIKADY中央東地区

背景: Braun少佐の今日の目的は、燃料タンクの複合施設を占領し、ヴォルガ川の河岸線に侵入することだっ

た。Braunと彼の部隊は11月2日に一時的に燃料タンクに到着したが、その努力で最後の予備を使い果たし、Kalmikov少佐の第241狙撃兵連隊の反撃によって撃退された。複合施設の西にある作業場の突入地点の1つから夜明け前の光を見て、Braunはソビエト軍の陣地が砲撃されるのを観察した。砲兵が攻撃を始めると、Braunはいくつかの突撃砲に支援されて部隊に前進するよう命じた。ほぼ即座に、彼の兵士の何人かは敵の狙撃兵が狙いを定めた場所に飛び込んでいた。

ボード構成：ヘクス列Rの上/東およびR38-JJ36崖の北にある番号23以上のヘクスのみプレイ可能

バランス：

ソ連軍：ソ連軍プレイヤーは2MMC以下をクラス上昇(A15.3)

ドイツ軍：開始時OBに8-3-8突撃工兵分隊(SSR RF19)1個とDC1個を追加

勝利条件：ドイツ軍は、ゲーム終了時に、建物S26、S31、S33を支配していれば、燃料タンク工場(SSR1)の12ヘクス以上を支配し、5分隊相当/MA機能AFV以上を東端から退出させていれば勝利

ターンレコードチャート

ソ連[137] [ELR3] {SAN5}

ドイツ軍[233] [ELR3] {SAN3}

戦闘序列

ソ連軍：

第95狙撃兵師団、第241狙撃兵連隊は、U38-X36-X32-CC30-CC23の上/東に配置し、地形タイプに関係なく隠蔽可能(SSR2)

ドイツ軍：

第305歩兵師団、第576歩兵連隊、第294工兵大隊は、建物S26/S31/S33に配置

drが現在のターン番号以下で西端から進入か、ターン4に自動的に進入

第244Sturmgeschutz大隊は、ターン1に西端から進入

特別ルール：

1. RF SSRを参照。建物V27、V29、X24、X27、X28、Z25は瓦礫。石造瓦礫をヘクスX23に配置。工場S33は全焼(O5.5)。燃料タンク工場は、DD29、EE29、EE30、FF28、FF29、GG28、GG29、GG30、HH27、HH28、HH29、HH30、II28、II29、II30、II31の16ヘクスで構成。
2. ソ連軍プレイヤーは、3以下の要塞化建物を指定可能(B23.9;トンネルはNA)。ソ連軍は、2以下の分隊相当(およびSMC/SW)にHIP使用可能。ソ連軍OBで与えられた「？」は非隠蔽地形に配置可能。塹壕、鉄条網、地雷は、東端ヘクスから4ヘクス以上に設置。
3. AFVが除去/擱座/帰還されるたびに[EXC:NTC失敗による]、帰還していない各起動AFVはNTCを行い、失敗すると即座に帰還
4. ドイツ軍は、1分隊相当以下(およびSMC/SW)にHIP使用可能
5. すべてのセットアップの前に、ドイツ軍プレイヤーは5ヘクス以上離れている2ヘクスを密かに記録する。すべてのセットアップが完了した後、FFE:1カウンターをそのヘクスに配置し、事前登録されたヘクス(C1.73)であるかのようにそれぞれに対して精度drを実施する。各最終配置ヘクスと各FFE:1カウンターの2ヘクス内のすべてのヘクスは砲撃を受ける(C1.82-832)。予備ヘクスはない。両方のFFE:1カウンターの2ヘクス内にあるヘクスは、2回の個別の砲撃を受ける。解決後、各FFE:1カウンターは除去する。ドイツ軍は、80 + mm大隊迫撃砲(C1.22)OBA(HEのみ)と豊富な弾薬(C1.211)を1モジュールを受領。

顛末：ソビエト軍は最初の攻撃を鈍らせることに成功した。朝遅くに新たな努力で、追加の火炎放射器に支援されたドイツ軍は、Mezenskaya通りに続くソビエト軍前線を通って東に向かって攻撃した。いくつかの突撃砲の喪失と別の突撃砲の撤退でさえ、ドイツの潮流を食い止めることができなかった。すぐに、擲弾兵の小グループがソビエト軍前線を通り、ヴォルガ川の砂州に到着した。一日の終わりまでに、ドイツ軍は燃料タンクをしっかりと保持していた。ソビエト軍にとってさらに悪いのは、スターリングラード攻防戦の残りの大部分を、第95と第138狙撃兵師団が互いに直接接触できなくなったことだった。

RF14 ANCHORING THE LINE

年月日：1942年12月31日

場所：BARRIKADY北東地区

背景：スターリングラード戦の潮流は、11月19日に赤軍が困窮した都市を救済することを目的として南北に大

規模な2本立ての反撃を開始したときに変わった。次の数日と数週間で、市内のソビエト軍は攻撃を続け、徐々にドイツ軍は強力な防御側になった。第578歩兵連隊の境界内では、特に4つの建物がソビエト軍の攻撃を阻止するのに役立っていた。かつて敵をヴォルガ川に追いやることを任されていたRettenmaier少佐は、彼の指揮所から、今やその河岸が視界から完全に見えなくなるに最善を尽くしていた。

ボード構成:ヘクス列Vの上/東の番号12以上および23以下のヘクスのみプレイ可能

バランス:

ドイツ軍:ドイツ軍OBに1鉄条網カウンターを追加

ソ連軍:ソ連軍OBに2「？」を追加

勝利条件:ソ連軍は、ゲーム終了時に、4 VP以上の建物を支配すれば勝利(SSR3)

ターンレコードチャート

ドイツ軍[102] [ELR2 / 3 SSR4] {SAN3}

ソ連[142] [ELR3] {SAN3}

戦闘序列

ドイツ軍:

第305歩兵師団、第578歩兵連隊は、V15-W15-X15-X16-GG21-GG23の南に配置 [EXC:鉄条網はドイツ軍セットアップエリアに隣接するヘクスに配置可能]

第578歩兵連隊と第50装甲工兵大隊は、SSR5に従い現在のターン数をdrするか、ターン4に自動的に南端から進入

ソ連軍:

第138狙撃兵師団、第344および第650狙撃兵連隊は、V12-JJ19(SSR1)の上/北に配置

特別ルール:

1. RF SSR [EXC:ECはWet、川は凍結(B21.6)、SSR RF15はNA]。積雪(E3.72)が有効。オーバーレイRB4を配置。建物Z17の両方は要塞化(B23.9)。石造瓦礫をBB18に配置。ユニットは、3MFのCOTでBB18からCC19のレベル1に入ることができ、その逆も可能。CC19が要塞化建物の場合、BB18/CC19のヘクスサイドは分離と見なす。塹壕はHIP使用不可。トンネルはNA。
2. ソ連軍プレイヤーは、V15、X15、Z17、BB19、GG21の各建物にVP値を指定する。割り当ては、3VPが1、2VPが1、1 VPが2、0VPが1。さらに、SSR4で指定された要塞化建物は、建物内の要塞化数に等しいVPの価値があり、VP値は累積する。建物のVP値は、ゲームが終了するまで非公開。
4. ドイツ軍プレイヤーは、3つの要塞化建物を指定可能[EXC:建物V21、W23、X21、AA22は不可]。ドイツ軍MMCのELRは2で、ドイツ軍SMCのELRは3。ドイツ軍は1分隊相当以下(およびSMC/SW)にHIP使用可能で、レベルCのブービートラップ(B28.9)機能を備える。
5. 現在のターン数は、drが成功した場合にそのターンに進入するドイツ軍ユニットの数を示す。

顛末:持続的な砲撃、直接射撃、爆発物による突破の試みにより、ドイツ軍にコミッサールの家として知られているU字型の建物の北西のバリケードが、露出した石積みの山とランプのようなコンクリート片の崩れかけた塊に変わった。この建物の内部は、死にゆく獣の重要な器官のように露出していた。しかし、何ヶ月にもわたる戦いの後、屋根は無傷のままだった。ハウス79(Kretzhaus)とハウス67と共に、バリケード工場のこの地域に頑丈なドイツ軍要塞線の防波堤を形成した。ソビエト軍による反復攻撃は、1943年2月2日の苦い戦いの終わりまで持ちこたえ続け、強固な防御側を追い払うことができなかった。

RO1 BLOOD ON THE TRACKS

年月日:1942年10月23日

場所:THE RED OCTOBER FACTORY

背景:10月23日までに、ドイツ第6軍はスターリングラードのトラクター工場を確保し、バリケード砲工場に確固たる足場を築いた。3つの複合工場施設の最南端であるKrasny Oktyabr(赤い十月)製鉄所の占領はまだ始まっていないが、このうらやましい仕事を任されたのは、Graf von Schwerin将軍の第79歩兵師団だった。スターリングラードの残忍な肉挽き機にはまだ比較的血が流れていなかった。敵の陣地への短い激しい砲撃の後、ストゥーカとStuGに支援された第79師団の突撃部隊は、明確に決められた3つのステップで前進することになった。攻撃の最初の目的は、工場のすぐ西にある鉄道線の堤防であった。機動の自由度を高めたい(そして敵の再編成を許すことの危険性を認識していた)一部の指揮官の反対に対して、攻撃の許可が得られるま

で工場の建物(2番目の目的)に進まないように明確に命令されていた。

ボード構成:ヘクス列Rの西側の番号24以上および33以下のヘクスのみプレイ可能

バランス:

ソ連軍:ソ連軍開始時OBに9-1リーダーと12A-P地雷を追加

ドイツ軍:ドイツ軍開始時OBに4-6-8を3つ追加

勝利条件:ドイツ軍は、ゲーム終了時に、ヘクス列Kの上/西に統制状態ソ連MMCがいず、ヘクス列Mの上/東の1つ以上の建物を支配すれば勝利

ターンレコードチャート

ソ連軍[246] [ELR3/2] {SAN4}

ドイツ軍[205] [ELR4/5] {SAN3}

戦闘序列

ソ連軍:

第39親衛狙撃兵師団、第112親衛狙撃兵連隊、第48機関銃大隊[ELR3]は、ヘクス列E(SSR2)の上/東に配置

攻城民兵部隊[ELR2]は、SSR4に従いR24/R30から進入

ドイツ軍:

第212歩兵連隊[ELR4]は、ヘクス列C(SSR2)の西側に配置

工兵大隊[ELR5]は、ターン2以降に西端から進入

第244Sturmgeschutz大隊は、3ターン目以降に西端から進入

特別ルール:

1. RF SSRを参照。炎カウンターをヘクスF27に配置。
- 2.両軍は、1ヘクス列ごとに最大12個のカウンターを配置可能[EXC:"?"カウンター;HIPユニット/要塞]。
- 3.ソ連軍プレイヤーは、4以下の要塞化建物(B23.9)を指定可能。ソ連軍は、3つ以下の分隊相当(およびSM / SW)にHIPを使用可能。
- 4.各ソ連プレイヤーターンの開始時に、ソ連プレイヤーはdrを行う。drは、そのターンに進入可能な工場民兵部隊数を決定する[EXC:1SMC以下は各ターンに進入可能]。
- 5.ドイツ軍は100+ mm OBA(HE / 煙幕)を1モジュール受領
- 6.ドイツ軍プレイヤーは、最初の3ターンのソ連軍RPhの開始時にdrし、すぐに次の航空支援(E7; SSR RF9)を受領する。1-3:2爆弾装備ストゥーカ、4-5:1爆弾装備ストゥーカ、6:1爆弾なしストゥーカ。各ストゥーカは、到着したソ連軍プレイヤーターンの終了時に自動的に帰還する。
- 7.ターン5以後に下水道移動(SSR RF2)がNAIになる。また、ターン5以後に既に下水道にいるユニットはすべて除去される。

顛末:細心の注意を払った準備の数日後、ドイツ軍歩兵はソビエト軍陣地への飽和砲撃に続いて、08:10に攻撃を開始した。くすぶっているRusskaya Derevnnyaの住宅街で、Legunin少佐の第112警備狙撃兵連隊の警備兵による必死の反撃にもかかわらず、一部のドイツ軍攻撃グループは1時間以内に工場の鉄道路線に到着した。支援砲兵の再編成と方向転換のために少し休止した後、工場への前進は10:00に再開された。

RO2 SECOND STEP

年月日:1942年10月23日

場所:THE RED OCTOBER FACTORY

背景:赤い十月工場を占領し、それを超えてヴォルガ川を見下ろす高い断崖に進むドイツ軍の攻撃は、10月23日金曜日の早い段階で多くの「強打」で終了した。08:00の直後、飽和砲撃の後、第79歩兵師団の突撃部隊は広いTramvanaya通りの西の集会場から攻撃を開始した。ストゥーカは晴れた空を飛び回り、あえて姿を現したソビエト軍の標的に素早く襲い掛かった。09:30までに、ドイツ軍の最初の目的である、工場の西にある南北の鉄道堤防に到達した。その後、攻撃計画は、第2波の新たな兵を投入し、次の目的である工場のホールへの短いが継続的な砲撃を要請した。一方、Gurievの第39親衛狙撃師団の血まみれの生存者は、これらの破壊された店や工場を守る任務を負い、大量のドイツ軍の砲撃に耐えながら、防御態勢を整えた。10:00を数分過ぎた頃、突然響いた鋭い笛がドイツ国防軍の軍隊が再び前進していることを警告した。ドイツ軍は第2波の一步を踏み出した。

ボード構成:ヘクス列G-AAで30以上42以下のヘクスのみがプレイ可能

バランス:

ソ連軍:ソ連軍OBに6A-P地雷を追加

ドイツ軍:ソ連軍9-2リーダーを9-1リーダーと交換

勝利条件:ドイツ軍は、ゲーム終了時に、建物N36、R31、S39、V39、W31、Y34の3つ以上を支配することで勝利

ターンレコードチャート

ソ連軍[231] [ELR3] {SAN5}

ドイツ軍[227] [ELR4] {SAN3}

戦闘序列

ソ連軍:

第39親衛狙撃兵師団、第112親衛狙撃兵連隊および工場民兵は、SSR2に従って配置

第69対戦車大隊は、ヘクス列Qの上/東に配置

ヘクス列Mの上/東に設定

ドイツ軍:

第212歩兵連隊、および第244歩兵連隊は、L30-L31-J32-J37-L38-L42の上/西に配置

特別ルール:

1. RF SSRを参照。O41に炎カウンターを配置、U30に石造瓦礫を配置。

2.ソ連軍は、勝利条件にリストされている6つの建物のそれぞれに異なるグループを配置する。ソ連軍プレイヤーは、6以下の要塞化建物(B23.9)を指定可能。

3.ドイツ軍は、事前登録(C1.73)された1ヘクスに200+mmロケットOBA(C1.9)を1モジュール受領

4.ターン3から、ドイツ軍プレイヤーは航空支援(E7; DDR RF9)として、現在のターン数以下のdrで、2爆弾搭載ストゥーカを受領

顛末:低めの突撃砲の鋭い砲火に支援されて、第212歩兵連隊の中隊は、廃墟となり燻っているPlate Millのホール8にすぐに侵入した。連隊の他の部隊は、ホール5aを經由して仕分け店(ホール5)に侵入した。さらに北では、連隊の一部がホール3と5の間の瓦礫と破片で激しい戦いを繰り広げた。ドイツ空軍のリエゾンオフィサーが地上部隊を前進させ、ホール6、9、10とその周辺でストゥーカが強固なソビエト軍陣地を攻撃した。その後まもなく、ドイツ軍地上部隊が再び移動し、Blooming Mill(ホール6)とその向こうのホール7の燻っている廃墟に前進した。ドイツ軍の攻撃計画の第2段階である赤い十月製鉄所への侵入は達成されたが、双方の人命に恐ろしい犠牲を払わずにはいられなかった。

RO3 DEFENDERS OF STALINGRAD

年月日:1942年10月25日

場所:THE RED OCTOBER FACTORY

背景:赤い十月工場複合施設の南半分のドイツ軍による支配は希薄だった。ドイツ軍の砲兵前方監視員は、ソビエト軍の物資と援軍の細流を阻止するために川岸を見張ることができず、ソ連軍はそこと北の巨大なMartin Shopとホール1と2の飛び地を維持することができた。Gurievの第39親衛狙撃師団の塹壕に入った部隊は、Martin Shopから近くのすべての道路や塹壕に「信じられないほどの機関銃の射撃」を注ぐことができ、建物の外の小グループの兵士でさえ非常に危険になった。25日、Bucholz大尉の第212歩兵連隊の戦闘グループは、第179工兵大隊とともに、Martin Shopの掩蔽された内部に突入した。戦闘工兵の一人であるWalter Loos軍曹によると、暗い部屋での戦闘は、戦闘員間の「いちごっこのゲームのようなもの」だった。ソビエト軍は工場の真ん中に主要抵抗線を再構築し、Bucholzの部隊を止めた。ドイツ軍は、部隊を統合し、建物の残りの部分を一掃するために必要な重火器を搬入する時間が与えられることを望んだ。

ボード構成:ヘクス列Mの上/東で13以上および27以下のヘクスのみプレイ可能

バランス:

ソ連軍:ドイツ軍8-1リーダーを削除

ドイツ軍:第120親衛機械化狙撃兵連隊からソ連軍9-1リーダーを削除

勝利条件:ソ連軍は、ゲーム終了時に、建物T22のすべての地上ヘクスを支配すれば勝利

ターンレコードチャート

RGRR交互セットアップ

ソ連 [298] [ELR3] {SAN5}が最初に移動

ドイツ軍[164] [ELR4] {SAN3}

戦闘序列

ソ連軍:

第39親衛機械化部隊、第120親衛機狙撃兵連隊、NKVD民兵隊は、下記のように配置

・Martin Shop守備隊は、最初にB23/X21から2ヘクス以内の工場に配置

・NKVD中隊は、3番目にヘクス列BB(SSR2)の上/東で18以上のヘクスに配置

・第120親衛機械化狙撃兵連隊は、4番目に建物内に配置

ドイツ軍:

第79歩兵師団、第212歩兵連隊、第179工兵大隊は2番目に配置し、工場から21ヘクス以上、全ソ連軍ユニットから2ヘクス以上離して配置

特別ルール:

1. RF SSRを参照

2.ソ連のNKVD 中隊の6-2-8/3-2-8はNKVD。IDを記録。NKVD MMCは、突撃射撃(A7.36)できない2線級(A1.25)ユニットであり、ELRが5で、士気(A19.13)が強化され、混乱時の士気が1増加。追加の-1HOB DRM。クラス上昇でFanatic(A10.8)。戦場昇進(A18)で自動的に9-0コミッサールが発生。

顛末:Martin Oven(ドイツ軍には「ホール4」として知られる)の戦いは、第62軍がヴォルガ川西岸に不安定な足場を維持できた、粘り強い防御と大胆な攻撃の組み合わせの良い例だった。ソ連軍が防御拠点を失わなかったため、ドイツ軍が重火器を搬入する機会を得る前に反撃が開始された。通常は大佐の立場で指揮するはずの第120親衛機械化狙撃兵連隊をKukhareenko大尉が指揮していることが、ソビエト軍が建物の防衛のために将校に多大な犠牲を払ったことを象徴していた。Martin Shopの東西方向は、南のドイツ軍への反撃と遮断に理想的だった。したがって、ドイツ軍が店に足掛かりを確立することができた後、Kukhareenko大尉は敵を追い払う決心をした。25日の夕暮れ間際、ソビエト軍の攻撃がMartin Shopの北にあるホール1と2からこっそりと始まり、NKVD中隊が東から侵入した。これらの混成部隊は、ドイツ軍が戦果を確立する前にドイツの防御を破り、Martin Shopからドイツ軍を追い出した。この戦いは、後に第62軍のメンバーが、「我が軍はスターリングラードを防衛し続けた」と赤軍の日記に誇らしげに記録した戦役の1つだった。

RO4 THE MARTINOFEN

年月日:1942年11月11日

場所:THE RED OCTOBER FACTORY

背景:赤い十月工場複合施設の大部分を占める巨大ホール4は、ソビエト軍の防衛の要だった。進取の気性に富んだソビエト軍は、工場の14個の凹んだ「Martin Oven」を、トンネルで相互接続した一連の難攻不落の要塞に変えた。その占領者は、建物の東端からヴォルガに向かって東に移動しようとする敵に致命的な砲火をもたらした。HUBERTUS作戦が11月11日の早朝に始まったとき、ソビエト軍はまだ洞窟の建物にしっかりと隠れ潜んでいた。ドイツ軍工兵は、ホール4の強固な守護者を追い払うといううらやましい任務を与えられた。攻撃への道を開くのを助けるために、ドイツ軍司令官、Welz大尉は、戦略的に事前に配置された強力な突撃を行うため、準備砲撃の後に前進するタイミングをとった。Martinofenhalleのホール4を占領するというドイツ軍の決意は、ソビエト軍が破壊され瓦礫となった建物を保持しようとする決意との完全な相反によってのみ一致していた。

ボード構成:ヘクス列F-Sで16以上26以下のヘクスのみがプレイ可能

バランス:

ソ連軍:ソ連軍OBIに2個6-2-8分隊と1個8-1リーダーを追加

ドイツ軍:ドイツ軍「支援部隊」に1個15cn siG 33INFと1個2-2-8操作班を追加

勝利条件:ドイツ軍は、ゲーム終了時に、12VP以上を獲得すれば勝利。支配する屋上以外の建物S22ヘクスごとに3VPを獲得。CVPをドイツのVP合計から差し引く。

ターンレコードチャート

ソ連軍[166] [ELR3] {SAN6}

ドイツ軍[289] [ELR5] {SAN3}

戦闘序列

ソ連軍:

第39警備隊狙撃兵師団、第120警備隊狙撃兵連隊、第3大隊、第45狙撃兵師団、第253狙撃兵連隊、第2大隊は、建物S22に配置

ドイツ軍:

第79歩兵師団、第179工兵大隊、第40装甲工兵大隊、支援部隊を下記のように配置

・第179工兵大隊と第40装甲工兵大隊は、ヘクス列Kの上/西側の番号23以下のヘクスに配置[EXC:2個分隊相当以上(およびSMC / SW)をヘクスN25に配置]

・第79歩兵師団支援部隊は、J17の3ヘクス内に配置

第369歩兵連隊は、建物K17に配置(SSR5)

特別ルール:

1. RF SSR [EXC:EC はWet]を参照。木造瓦礫をI24、J21、J22、J23に配置。弾痕カウンターをI21、I22、I23、J24、J25、J26に配置(影響を受ける臨時倉庫はもう存在しない)。
2. ソ連軍は、2個分隊相当以下(およびSMC / SW)にHIPを使用可能
3. すべてのセットアップの前に、ソ連軍プレイヤーは、120mm HE Concentration FFEの中央ヘクスとして、ヘクス列Kの上/西側の番号20以上の1ヘクスを密かに記録。精度は通常通り適用するが(C1.3)、誤差範囲drは半分にする(FRU)。攻撃はセットアップ後、プレイ開始前に解決し、その後FFEを除去。
4. すべてのセットアップの前に、ドイツ軍プレイヤーは次のヘクス(M22、N21、N22)のいずれかを密かに記録して、設置DC(A23.7)攻撃をする。この設置DCは、ドイツ軍OBでの最初のDCの割り当てにはカウントされず、ドイツ軍ターンPFPh中に爆発するか、故障する。
5. 第369歩兵連隊の統制状態ユニットは、ヘクス列Oの上/東にある建物S22に統制状態ドイツ軍ユニットが進入したプレイヤーターンが終了するまで、建物K17に留まらなければならない。
6. 建物R24(ホール3)のヘクスは、プレイ中に(敗走、下水道移動、またはその他の方法で)立ち入れないが、LOSの目的で構造は存在する。建物は、通常通り火災/瓦礫になる可能性がある。

顛末: 11月11日のドイツ軍の賢い計画は、ソビエト軍の虜囚によってひっくり返された。ドイツ軍の予備砲撃が始まる数分前に、東岸のソビエト軍の砲兵は彼ら自身の致命的な砲撃を吹き飛ばした。露出した位置で無防備なドイツ軍の何人かを砲撃した。それにもかかわらず、Martiofenの近くの砲撃が終わると、自信に満ちたドイツ軍攻撃部隊が目的のホール4の東端に向かって押し出して来た。工場の南西の壁は地面に崩れ去った。ドイツ軍はゆっくりとした前進を続けたが、同心円状の攻撃を受けたときに死傷者は増加した。ドイツ軍は重機関銃からの射撃で進入できないことに気づき、赤い星殻に対し援軍を呼びかけた。近くの「Ladder House」で待機していたクロアチア歩兵中隊がドイツ軍の呼びかけに応えたが、彼らが到着しても犠牲者を避難させるのを助けることができたただけだった。

RO5 MEN OF STEEL

年月日: 1942年11月11日

場所: THE RED OCTOBER FACTORY

背景: HUBERTUS作戦は、スターリングラードの荒廃した工場地区を占領するためのドイツ軍の最後の賭けであり、ヒトラーが切望していたヴォルガ川を占領する最後の試みだった。血まみれであるがまだ攻撃可能な3個ドイツ歩兵師団(79、100、305)の大部分は、2個のボロボロの装甲師団(14と24)の残りの少数の戦車と、いくつかの分隊から抽出した突撃砲に支援され、バリエード工場から南に向かって赤い十月工場まで伸びる3マイルの正面を前進した。いつものように、目標は野心的でだった。残っているすべてのソビエト軍の抵抗を排除しながら川岸に到達すること。赤い十月工場複合施設内で、Gurievの第39親衛狙撃部隊の強固な部隊は、巨大で迷路のような「ホール4」の支配権を失うことを拒否した。ほんの数ヶ月前、このホールの14個の深い「Martin oven」が赤軍戦車用の溶鋼を製造していた。今、攻撃された親衛兵は、ヒトラーのドイツ国防軍の銃口からの射撃によってさらに別の試練を受けた。射撃は彼らを真の鋼の男に素早く変形させた。

バランス:

ソ連軍: ソ連軍OBAは豊富な弾薬(C1.211)に、勝利条件は「 ≥ 50 」を「 ≥ 55 」に変更

ドイツ軍: ソ連軍OBAは弾薬不足(C1.211)に、勝利条件は「 ≥ 50 」を「 ≥ 45 」に変更

勝利条件:ドイツ軍は、ゲーム終了時に、失った(または失わない場合は開始した)石造りの建物/瓦礫を50以上支配すれば勝利

ターンレコードチャート

ソ連軍[828] [ELR3] {SAN5}

ドイツ軍[997] [ELR4] {SAN4}

戦闘序列

ソ連軍:

第39親衛狙撃師団と第45狙撃師団は、境界線(SSR2)の東に配置し、隠蔽地形にある場合は隠蔽可能

予備グループA: 第39工兵大隊は、SSR3に従って進入

予備グループB: 第117親衛狙撃兵連隊は、SSR3に従って進入

第62軍予備軍は、現在のターン番号以下のDRでHH48から進入

ドイツ軍:

第79歩兵師団、第100猟兵師団、第179工兵大隊、第40装甲工兵大隊は、建物/瓦礫の周囲(SSR2)の西側に配置

第244 Sturmgeschutz大隊は、ターン1にA10またはA27から進入

第245 Sturmgeschutz大隊は、ターン6にA5 / A41から進入

第79歩兵師団は、ターン7にA20とA26の間の西端から進入

100猟兵師団予備軍は、ターン9にA41 / A47から進入

特別ルール:

1. RF SSR [EXC:EC はWet]を参照。SSR CG8、CG11、CG17(O11.4)は有効。工場Z21、S29、P35、S38は全焼(O5.5)。適切なタイプの瓦礫をI24、I35、J21、J22、J23、J38、P39、U36、Y9、Y10、Y33、Z8、AA8、AA31、DD33、EE34、GG23に配置。弾痕カウンターをI21、I22、I23、J24、J25、J26に配置(影響を受ける臨時倉庫はもう存在しない)。
2. 包囲環は、S0-S5-X7-X18-(W18)-P18-K21-K24-(L23)-S24-S30-T30-T35-K40-K45-D48
3. セットアップの前に、ソ連軍プレイヤーは、ヘクス列EE/FF/GGの崖を含む2つのレベル1ヘクスを「予備グループ」に割り当てて密かに記録する。各ヘクスは、他のヘクスから3ヘクス以上離す。予備グループは、選択した崖内(IN)に配置 [EXC:ドイツ軍が占領している場合、隣接する崖ヘクスから、マップ外から入る場合と同じように、ヘクス列EEの同じ崖にある崖ヘクス内(IN)に進入する]。ソ連軍プレイヤーが選択したグループの1つはターン7以降に進入し、もう1つのグループはターン10以降に進入する。グループが進入していない場合に、ソ連軍プレイヤーはターン7から各ソ連RPhの開始時にdrを行う。このdrは、所有しているSWと一緒にそのターンに進入可能な予備グループのユニット数を決定する。最初のグループのすべてのユニットが進入すると、他のグループのユニットは同じ手順で次のソ連プレイヤーターンから進入する。
4. すべての非工場内部ヘクス(Split-Level工場建物ヘクスの地上レベルを含む; O5.7)は要塞化されており(B23.9)、ソ連軍プレイヤーは7以下の追加の要塞化建物を指定可能
5. ソ連軍は、3個分隊相当以下(およびSMC / SW)にHIPを使用可能。ソ連軍はMOL(A22.6)機能を所持。
6. ソ連軍は、200+mmロケットOBA(C1.9)を1モジュールと120+mm OBA(HE/煙幕)を1モジュール受領。ドイツ軍は、豊富な弾薬(C1.211)の100+mm OBA(HE/煙幕)を1モジュール受領。セットアップの前に、各陣営は非ロケットモジュールごとに1つの事前登録(C1.73)ヘクスを選択する。それぞれの側は、OBA用に無線または野戦電話のいずれかを自由に選択可能。
7. 狙撃兵攻撃のdrが「1」の場合、狙撃兵の所有者は、攻撃や狙撃兵カウンターを再配置する代わりに、SANを1つ増加可能。ただし、印刷SAN以上にならない。
8. このシナリオは、シナリオRB5「THE LAST BID」と組み合わせてプレイ可能。その際、次の点に注意。
 - ・ROマップの北端は、RBマップの南端とオーバーラップする。
 - ・マップごとに1つの狙撃兵カウンターのみを使用するが、SSR CG8に従いアクティブにする狙撃兵を選択する。プレイヤーは、友軍狙撃兵カウンターがすでにあるマップに狙撃兵を自発的に再配置できない。
 - ・RB5のターン1ドイツ軍増援は、RBA44からのみ進入可能。RB5のターン10ドイツ軍増援は、RBA22またはRBA37からのみ進入可能。
 - ・バランスはマップごとに個別に適用する。
 - ・勝利はマップごとに個別に評価する。ドイツ軍が両方のマップのVCを達成した場合はドイツ軍戦術的勝利と見なし、一方のマップのVCを達成した場合は引き分けになる。ドイツ軍がどちらかのマップでVCを達成できなかった場合はソ連軍戦術的勝利になる。
 - ・2つのシナリオは、こことRB5の2ページ目に示されているように、ドイツ軍突撃砲の援軍(第244と第245Sturmgeschutz大隊)を共有している。各グループは、RBマップまたはROマップ(各シナリオカードに記

載されている進入手順に従って)に進入可能だが、両方に進入できない。

顛末:準備砲撃が終了すると、粉塵に覆われたドイツ軍突撃部隊が、粉々になった壁の後ろと保護鋼板の下から現れ、月のクレーターの風景を越えて東に向かってヴォルガ川のほとりに向かって危険な前進を始めた。赤い十月工場自体の敷地内で、ドイツ軍はホール4の強固なソビエト軍の防御に最終的な立ち退き通知を出すことを決意した。敵対者は、すべての石とレンガ、すべての爆破されたコンクリートの岩、およびねじれた桁のもつれに対して、血まみれの気の遠くなるような戦闘に従事した。その長くて恐ろしい一日の終わりまでに、ドイツ軍は工場の他のホールのほとんどを占領したが、Gurievの兵士はホール4「Martinofen」の爆破された残骸に拠点を保持していた。しかし、損害は恐ろしいものだった。前日に250人の兵士がいた第37親衛師団の第118親衛狙撃兵連隊は、今では6人の生存者を数えた！

RO6 THE PLAYING FIELD

年月日:1942年12月15日

場所:THE RED OCTOBER FACTORY

背景:12月の第2週の終わりまでに、スターリングラードの元守護者たちはついに主導権を握り、廃墟となった都市を取り戻すための入札を開始する準備が整った。赤い十月工場の南端にあるこれらの建造物のうちの2つは、ホール8(Plate Mill)と8a(巨大な洞窟の倉庫)だった。Gurievの第39親衛狙撃部隊の部隊は、ほぼ2か月間、第79歩兵師団のRhinelandととの致命的な戦闘を行っていた。一見終わりのない日の間、ソビエト軍は、砕ける流水でまだ詰まっている川に背を向け、冷たいカーシャの塊の中で生き残り、すべての弾丸を数える新しい方法を見つける必要があった。そして、大規模なソビエト軍の反撃のニュースが到着した。ドイツ軍の同盟国の崩壊...カラチでの重要な橋の占拠...パウルス第6軍を包囲した！飛び跳ねる猫は袋に入れられていた！さて、3週間以上の包囲の後、ドイツ軍もまた、半分の配給量と慢性的な弾薬不足の中で隠れた喜びを発見していた。ついに、ソビエト軍にいくらかの反撃をする時が来た。Plate Millへの攻撃に備えるために、暗闇に隠れて、6人の赤軍スカウトが最初に鉄条網の絡み合いを通り抜けた後、ドイツが所有する店に近づいた。彼らはこっそりと移動し、1人の捕虜を連れて行き、静かに来た前線に戻った。

ボード構成:ヘクス列G-Wで30以上のヘクスのみプレイ可能

バランス:

ドイツ軍:8-1リーダーを9-2リーダーと交換

ソ連軍:ソ連軍OBIに6-2-8突撃工兵チームを1つ追加

勝利条件:ソ連軍は、即座に、建物O36にドイツ軍の統制状態MMCがいなければ勝利。または、ゲーム終了時に、ドイツ軍よりも15 VP以上多く蓄積すれば勝利。両軍とも、建物S38とO36の地上レベルで友軍統制状態分隊相当ごとにVPを獲得。建物S38が1 VP、建物O36が2VP。

ターンレコードチャート

ドイツ軍[153] [ELR3] {SAN3}

ソ連[190] [ELR4] {SAN4}

戦闘序列

ドイツ軍:

第212歩兵連隊と第244歩兵連隊は、G39-N40-P40-T40-U41-V40-W40道路の上/北に配置し、隠蔽地形では隠蔽可能。各建物(SSR2)には5分隊相当以下。

ソ連軍:

第112警備隊狙撃兵連隊、第2および第3大隊は、G39-N40-P40-T40-U41-V40-W40道路の南に配置

特別ルール:

1. RF SSRを参照。すべての工場は全焼(O5.5)。炎カウンターをF27に配置。適切なタイプの瓦礫をI35、J38、N38、P39、U36に配置。
- 2.ドイツ軍は弾薬不足(A19.131)。2個分隊相当以下(およびSMC/SW)にHIPを使用可能。6つ以下の要塞化建物(B23.9)を指定可能。鉄条網と塹壕はHIPを使用不可。8cm Gr W 34MRTには煙幕弾が無い。
- 3.ドイツ軍のセットアップの前に、ソ連軍プレイヤーはドイツ軍のセットアップエリアの1ヘクス列を密かに記録する。ドイツ軍のセットアップ後、ソ連軍プレイヤーはそのヘクス列から鉄条網カウンターを1つ除去可能。
- 4.ソ連軍は、セットアップ前に密かに記録されたヘクス列Mの南端のヘクスで、レベル3の盤外観測員(C1.61)によって指示された120+mm OBA(HEのみ)を1モジュール受領。

顛末:前夜の大胆な偵察襲撃中に収集した情報に助けられて、Legunin少佐の第112親衛師団狙撃兵連隊の兵士は、ホール8の敵の要塞を吸収した。激しい戦闘中に、疲労したドイツ軍は巨大なホールのセクションから最初に逃げることを余儀なくされた。ソビエト軍は、かつては非常に不均衡に見えた戦闘が少し「均等化」したことにゆっくりと気づき始めた。

RO7 STONE AGE CAVES

年月日:1942年12月26日

場所:THE RED OCTOBER FACTORY

背景:ドイツ第6軍が11月19日のソビエト軍の反撃で包囲されてから1か月が経過したが、赤い十月工場の冷たい廃墟で定期的な戦闘がまだ発生していた。クリスマスイブは、きよこの夜を歌っているまばらなドイツ軍が、木箱の破片で作られたその場しのぎのクリスマスツリーの周りに集まっていた。自らの運命に従順な兵士の表情で、彼らは古いパンの最後の一口をかじった。深刻な食糧と弾薬の不足が彼らの力を弱めた。それでも、彼らの規律は保たれていた。ソ連軍の戦争報道員であり、戦いの目撃者であるVasily Grossmanは、ドイツ軍は「彼らが破壊した美しい都市の廃墟の中で、馬の肉を煙と暗闇の中でむさぼり食う石器時代の洞窟の毛むくじゃらの野蛮人」のようだったと書いた。そのような洞窟の1つは、ショップ番号3(ドイツ軍にはホール2として知られていた)の厚い壁の内側にあり、第179工兵大隊の残兵とかつて強力な第79歩兵師団の大隊の数人の生存者が粉々になった廃墟にいた。爆破された避難所を鉄条網といくつかの貴重な地雷で囲み、ドイツ軍は最後に残った武器を持ち、避けられないものを待った。

ボード構成:ヘクス列Mの上/東の12以上および23以下のヘクスのみプレイ可能

バランス:

ドイツ軍:ソ連軍OBから2個6-2-8分隊を削除

ソ連軍:ソ連軍OBに2個5-2-7分隊を追加

勝利条件:ソ連軍は、ゲーム終了時に、建物V13のすべてのヘクスと、建物S17の4つ以上の地上レベルを支配すれば勝利

ターンレコードチャート

ドイツ軍[111] [ELR3] {SAN3}

ソ連軍 [171] [ELR4] {SAN4}

戦闘序列

ドイツ軍:

第226歩兵連隊と第179工兵大隊は、ヘクス列Xの上/西側の18以下のヘクスに配置し、隠蔽地形では隠蔽可能。ヘクス列あたり2分隊相当(SSR2)以下。

ソ連軍:

第253狙撃兵連隊は、ヘクス列CCの上/東、および建物Z21に配置。これら2つの配置エリアのそれぞれに10MMC以下。

特別ルール:

- RF SSR [EXC:川は凍結(B21.6)]を参照。すべての工場(Split-Level工場建物ヘクスを含む;O5.7)は全焼(O5.5)。石造瓦礫をU20とV20に配置。塹壕カウンターをN16とV18に配置。鉄条網カウンターをM19、N18、O19、P18、Q18、R18、S19、T18、U19、V18、X12、X13、X18、Y15、Y16、Y17に配置。
- ドイツ軍は口腔照準(C6.4)、弾薬不足(A19.131)
- 両軍は、4以下の要塞化建物(B23.9)を指定可能

顛末:戦いを続けることを決意したスターリングラードの守備隊は、街の西、南、北の仲間がすべての仕事を待たなかった。12月12日、Vasily Chuikov中将は部下に、赤い十月工場の廃墟となったホールからドイツ軍を追い出すように命じたが、彼の酷使された軍隊は弱すぎてすぐに攻撃できなかった。11月初旬以来、ヴォルガ川の細かな流氷は、最初は減速し、その後停止した。ソビエトの補給フェリーは、ドイツ軍の機関銃の弾丸よりもさらに効果的だった。12月16日の夜、ヴォルガ川は固く凍りついた。ほぼ即座に、ソビエト軍は凍った川の上に板を置き、困窮した守護者に貴重な物資を運ぶことを可能にした。最後に、12月26日、第45狙撃師団のBoiko大隊の第1大隊は、荒廃したがまだ手ごわいドイツ軍の要塞がある「ショップNo.3」への協調攻撃を開始する準備ができた。銃撃が収まり、ほこりが落ち着くまでに、Karamazin中尉の中隊は廃墟となった店の

南部を支配していた。Gremuchnikov中尉のほこりに覆われた部隊が東の部屋を確保し、Gurikin中尉の部隊が大広間の西側からドイツ軍を追い出した。